学校番号	315

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数演ＩＡ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	新課程　チャート式　解法と演習　数学Ⅰ＋Ａ（数研出版） 2026 大学入試短期集中ゼミ 数学 Ⅰ+A（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では課題に対して、自ら学ぶ意志をもって積極的に数学へ関わってください。
・多くの公式が出てきますが、内容をしっかりと理解し、暗記するだけにならないように注意してください。
・数と式、図形と計量、二次関数など数学ＩＡの内容が随所に出てきます。数学ＩＡの内容の理解が不十分な生徒は復習を怠らないようにしてください。
・授業の開始時や定期考査の時に演習した問題を提出してもらいます。考査前にまとめて解くのではなく、授業毎に学んだ内容の部分を少しずつ解くように心がけてください。わからなかった問題にはマークを付けておく等工夫し、何度もやり直せるようにしてください。
・わからない部分を放っておいて、いつの間にかできるようになっていた、ということはほとんどありません。友達に聞く、先生に聞く等、問題を解決する努力も重要です。

2　学習の到達目標

(1) 二次関数や図形と計量などの基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
(2) 二次関数や図形と計量などについて思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付ける。
(3) 二次関数や図形と計量などを数学的論拠に基づいて判断しようとする態度や、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に 学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式、図形と計量、二次関数などについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数と式、図形と計量、二次関数などの事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学ＩＡに関する数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。
上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 2 3	数と式	○整式の展開、因数分解 ○根号を含む式の計算 ○平方根､整数部分、少数部分 ○絶対値を含む一次不等式 ○条件と命題 ○命題の証明	a：数と式に関する用語，記号を適切に用いることができる。 b：発展問題に対して数と式の知識を用いて、それを組み立てることによって、取り組むことができる。 c：発展問題に対して数と式の知識を組み立てることによって、取り組もうとする意欲がある。	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返り シート
	二次関数	○グラフの平行移動、対称移動 ○二次関数の最大、最小 ○二次関数の決定 ○二次不等式 ○放物線と直線の関係 ○二次方程式の解の判別 ○2 次方程式の解と数の大小	a：二次関数に関する用語，記号を適切に用いることができる。 b：発展問題に対して二次関数の知識を用いて、それを組み立てることによって、取り組むことができる。 c：発展問題に対して二次関数の知識を組み立てることによって、取り組もうとする意欲がある。	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返り シート
	図形と計量	○三角比の利用 ○三角比の相互関係 ○正弦定理、余弦定理 ○三角形の面積 ○円に内接する四角形 ○空間図形への応用	a：図形と計量に関する用語，記号を適切に用いることができる。 b：発展問題に対しての図形と計量の知識を用いて、それを組み立てることによって、取り組むことができる。 c：発展問題に対して図形と計量の知識を組み立てることによって、取り組もうとする意欲がある。	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返り シート

	場合の数と確率	○場合の数 ○順列 ○円順列 ○重複順列 ○組み合せ ○同じものを含む順列 ○確率 ○反復試行の確率 ○条件付き確率 ○期待値	a：場合の数と確率に関する用語，記号を適切に用いることができる。 b：発展問題に対して場合の数と確率の知識を用いて、それを組み立てることによって、取り組むことができる。 c：発展問題に対して場合の数と確率の知識を組み立てることによって、取り組もうとする意欲がある。	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返り シート
	図形の性質	○三角形の性質 ○チェバ、メネラウスの定理 ○円の性質 ○空間図形と多面体	a：図形の性質に関する用語，記号を適切に用いることができる。 b：発展問題に対して図形の性質の知識を用いて、それを組み立てることによって、取り組むことができる。 c：発展問題に対して図形の性質の知識を組み立てることによって、取り組もうとする意欲がある。	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返り シート
	整数の性質	○余りによる整数の分類 ○一次不定方程式 ○いろいろな方程式の整数解 ○ｎ進法	a：整数の性質に関する用語，記号を適切に用いることができる。 b：発展問題に対して整数の性質の知識を用いて、それを組み立てることによって、取り組むことができる。 c：発展問題に対して整数の性質の知識を組み立てることによって、取り組もうとする意欲がある。	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返り シート

	データの分析	○平均値と分散	a : データの分析に関する用語，記号を適切に用いることができる。 b : 発展問題に対してデータの分析の知識を用いて、それを組み立てることによって、取り組むことができる。 c : 発展問題に対してデータの分析の知識を組み立てることによって、取り組もうとする意欲がある。	確認テスト	ノート レポート	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
○を付けている。